

# 平成 2 8 年度 ソフトウェア工学 レポート課題 Part2

## 「ソフトウェアのマニュアル作成」

平成 28 年 6 月 29 日  
67140390 平木場 風太  
hm14039@student.miyazaki-u.ac.jp

### 1. 設計方針及び時間の見積もり

- ①の場合、ローマ数字とアラビア数字を扱う構造体に 5000,10000 にあたるローマ数字を追加し、ヘッダファイルに記載されている最大値、最小値、エラーメッセージの内容を変更することで実装する。時間の見積もりは 30 分。
- ②の場合、コマンドラインからプログラムを実行する際にオプションを付けることでそれぞれの場合に対応する。getopt 関数を使い判定し、使用する構造体を変更することで実装する。また、それぞれの場合の最大値もその都度変わるようにする。時間の見積もりは 1 時間。

### 2. 前回作ったプログラムに対する入力と結果

入力 (1) 19     XIX  
入力 (2) 555     DLV  
入力 (3) 840     DCCCXL  
入力 (4) 2016     MMXVI  
入力 (5) 1239     MCCXXXIX  
入力 (6) 12345     ERR:ローマ数字は 1 ~ 3999 までの数字しか扱えません  
入力 (7) 100000     ERR:ローマ数字は 1 ~ 3999 までの数字しか扱えません  
入力 (8) 0     ERR:ローマ数字は 1 ~ 3999 までの数字しか扱えません  
入力 (9) 3.14     ERR:数字以外が入力されました  
入力 (10) -11     ERR:数字以外が入力されました  
入力 (11) 12MX     ERR:数字以外が入力されました  
入力 (12) 20, 4, 1605     ERR:数字以外が入力されました  
入力 (13) 数字     ERR:数字以外が入力されました

3. 上記の結果は不満足である。該当箇所は 9,10。

9,10 に関して、3.14 も-11 も数字であるにも関わらず、数字でないというエラーメッセージが出ているからである。これは入力した文字で<sup>^</sup>[0-9] に該当する文字を数字ではないと判断しているため。

4. 書いておいたほうが良かったと思うこと

- ダウンロード場所を記載しておくべきだった。
- インストール方法を記載しておくべきだった。
- 書いておいたほうが良かったことではないが、前回のマニュアルの最後のページの感想等はマニュアルと切り離すべきだった。

5. 先に提出したプログラムとマニュアルの満足度自己評価

- プログラム：70%

パイプまたはリダイレクトによる入力ができなかったため、それができれば活用の幅が広がったと考えた為。少数や負の数を数字でないと評価してしまった為。

- マニュアル：60%

ダウンロード方法及びインストール方法を記載していなかった為。また、感想等をマニュアルに記載してしまった為。